

移動市長室

朗読ボランティア さくらら会

朗読ボランティアによる

視覚障害者への支援について

通算71回目となる移動市長室を、8月9日(水)に開催しました。朗読ボランティアさくらら会と懇談を行い、11人の出席がありました。

● 問い合わせ先 秘書広報課

さくららは、声のボランティアを行うグループとして昭和63年4月に発足、視覚障害のある方々への情報提供のお手伝いをしています。現在の会員数は14人、盲養護老人ホーム寿光園や県立福岡視覚特別支援学校での対面朗読、市広報紙と議会だよりの音声訳テープづくりなどを行っています。また、長年にわたり継続して活動をしている功績により社会福祉功労者に対する福岡県知事感謝状ならびに表彰状を授与されました。

懇談では、さくららの概要やあゆみをはじめ平成28年度活動報告と対面朗読実演による説明を受けました。

大切な情報を声で届ける

広報紙を音声にして録音する、広報「声のたより」は、平成16年に開始、

10人の録音担当者が2人ずつで各号を担当し、生涯学習センターやカミリーヤ内ボランティアルーム、自宅などで録音作業をしています。情報を正確に伝えることを大切に、図や表はどのように表現するかという工夫や90分テープ1本に収めるための検討も必要です。読み間違えたり雑音が入ったりするたびに巻き戻して読み直して仕上げるため、実際の何倍もの作業時間がかかる大変な作業ですが、聞き手の皆さんに大切な情報を届ける、とてもやりがいのある活動だという紹介がありました。

知ってもらう場として

小学生向けの朗読ボランティア体験や入門朗読ボランティア講座では、視覚障害への配慮や発声発音の練習、必要な

情報への伝え方などを参加者に学習してもらったこと、また、カミリーヤフェスティバルでは、録音や読み聞かせの体験を行っていること、いずれも会の活動を広く知ってもらう、よい機会になっているとの報告がありました。

温もりのある支援を

視覚特別支援学校での読み聞かせは、平成21年から実施し、毎月2回、2人ずつが向かっています。本の選定から任されているため、どんな本を読もうか探すところから始まり、人と人のふれあ

や温度が伝わるような和やかな場になるという気持ちで行っていること、子どもたちから受け取る、ありがたいとのメッセージがとても励みだという紹介がありました。



視覚障害のある人の立場になって朗読を聞きました



エッセイと詩、絵本の対面朗読の実演がありました

の理解が必要だと感じること、心待ちにしてくれている人生の先輩たちとの出会いに支えられ、楽しく交流を深めていくことなどの報告がありました。

実演では、寿光園での様子としてエッセイと詩を、また、視覚特別支援学校での様子として絵本を読み聞かせてもらい、日ごろの対面朗読を感じることができました。

思いや願いを交流しました

視覚特別支援学校での子どもたちのいきいきとした反応を目の当たりにし、障害も個性の一つであると実感したことや、暮らしやすい社会実現のためのちよとした配慮の必要性、活動はいきがいであり自分を豊かにしてくれているなど、思いを話してもらいました。

それから、「声のたより」をもっと有効に活用してもらえたらという願いから、利用者ニーズの把握や録音テープの市民図書館への設置の提案を受け、テープ貸出および館内での視聴の実施について調整し、今後周知を行っていくとの回答を行いました。

懇談の中での提案や意見は、可能なものについては実施に向けて検討を進め、今後の市政に生かしていきます。



参加者からの感想

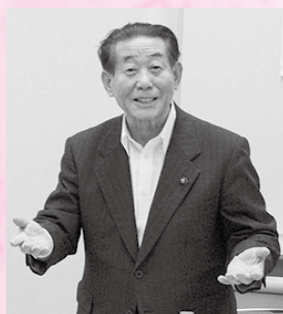
・私たちの活動を市長に聞いていただき、本当によかったです。活動を理解してもらえたのではないかと思います。

・望んでいることなどを直接伝える機会は、なかなかないので、よい機会でした。

・移動市長室に取り上げていただいで、視覚障害のある人への理解を広げていくことができたと思いました。

藤田市長の一言

さすがに朗読ボランティアをしてある皆さん方の話しぶりは、やっぱりすばらしいなと思って聞かせていただきました。目の見えない方に自分の声だけで色や形をわかるように伝えるのは並大抵のことではなく、日ごろから切磋琢磨し、技術向上を目指してある様子や活動に対する思いがよくわかりました。そんな大変なことをしていただいている皆さん方に心から感謝申し上げます。時代が変化していく中で伝えやすいような方法を考えていくこと、これは行政の責任もたぶんにあると思います。



本日は、非常に内容の濃い時間でありました。皆さん、どうもありがとうございました。

音声訳テープを配布しています

さくら会の皆さんが作製した広報紙と議会だよりの音声訳テープを、視覚障害のある人に郵送で配布しています。

希望する人は、お問い合わせください。

- お問い合わせ先
生活福祉課
障害者福祉担当

